

年 組 名前：

「ちゆうざい 駐在さん」のしごと 仕事

駐在所は「警察官駐在所」という警察施設の一つで、1人～2人の警察官が、併設された居住スペースに住み込んで勤務しています。都市部以外に設置されていることが多く、山梨県内には全部で117カ所あります。実際に住民として住むことで地域に溶け込み、受け持つエリアの隅々まで目を配らせることができるため、住民の一番身近な警察官として地域の安全を守っています。

一方、都市部に設置されることが多い交番は複数人で交代して勤務し、昼夜問わず事件、事故への対応やパトロールをしています。駐在所で働く警察官の方が地域住民との交流や関係性が深くなり、親しみをもって「駐在さん」と呼ばれることが多いです。

駐在さんは、パトカーに乗って地域を巡

回し、事故の早期発見や犯罪抑止に取り組んでいます。地域を戸別訪問し、犯罪に巻き込まれないよう注意を呼びかけたり、困り事や要望、意見を聞き取ったりします。詐欺被害を防ぐため、金融機関にも定期的に足を運んでいます。

このほか、通勤や通学の時間帯に駐在所の前や人通りの多い交差点などに立つ「見守り活動」もします。あいさつや声かけをして住民の様子を気かけ、小さな変化に気づくことで必要な支援につなげることができるそうです。

身延町の南部署常葉駐在所には、青柳隆宏巡査部長(60)が勤務しています。刑事や白バイ隊員も経験したことがあり、駐在所など地域警察部門には約15年間在籍する大ベテラン。「何げない会話から事件解決のきっかけをつかんだこともあり、住民の困り事

や世間話に耳を傾けることは大事な仕事の一つ」と話します。

青柳巡査部長の訪問を受けた、身延町岩欠の60代女性は「警察署に相談するのは気が引けるけど、直接会えばいろいろなことが話せるし、パトカーで巡回してくれるだけで防犯につながっていると感じています」と話し、働きぶりに感謝していました。

青柳巡査部長は「『ありがとう』と声をかけてもらうことも多く、とてもやりがいを感じています」と女性に言葉を返していました。そして「一番身近な警察官として、住民目線で地域の安全を守ることが『駐在さん』の大事な仕事。これからも誠実に地域住民と向き合い、近くにいることで安心してもらえるような仕事をしていきたいです」と話しています。 (宮川祐人)

(2023年1月19日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと2面)

問1

駐在所と交番の違いを書いてください。

・駐在所：

・交 番：

問2

山梨県内に駐在所は、全部で117カ所あります。駐在所の良いところを書いてください。

.....

問3

青柳巡査部長が、「大事な仕事」としていることは何ですか。

.....